

(別紙)

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の緊急対応型調査研究についての今回募集する研究対象

研究対象番号	研究対象	研究対象の背景と想定される試験研究の概要
1	みつばちの減少に関する緊急調査研究	<p>みつばちの大量死については、平成17年頃から散発的な発生としては見られていたが、昨年、大量死が頻発、オーストラリアからの女王蜂の輸入停止も重なり、生産現場では、本年に入りハウス栽培及び果樹栽培へのみつばちの供給不足が顕在化した。</p> <p>しかしながら、大量死などによるみつばちの減少の原因については、科学的には不明な部分も多く、現段階では有効な対策の検討が困難であり、今後の養蜂業、さらにはハウス栽培などみつばちによる受粉を必要とする園芸業そのものが衰退しかねない状況に直面している。</p> <p>このため、本課題では、</p> <ul style="list-style-type: none">① 受粉用・採蜜用みつばちにおける群の消長の実態の把握② みつばちの健康状態に関する要因の解析 <p>を実施することにより、みつばちの放飼・管理技術の改善等、養蜂業被害対策の早期確立に資する。</p>

上記研究対象に係る調査研究については、本年度内に終了し、所期の成果を出すことが求められます。

なお、研究費については、基本的に1千万円を上限としています。